

技術参考資料 付属資料-2

1 トーキ接続における RTP パケットの送信条件

端末機器から PSTN 上のユーザへの発信において、該当のユーザが存在しない場合等には、IP 通信網設備は端末機器に対してトーキを送出します(技術参考資料「4.2.4 (5)可聴音送出(トーキ・呼出音送出)」参照)。このとき、IP 通信網設備は、端末機器へ送信する RTP パケットにおいてシーケンス番号等のヘッダの値を再設定する場合があります。

端末機器においては、暫定レスポンス(18x)の受信とともに、受信する RTP パケットのシーケンス番号、タイムスタンプ等にランダムな変更があった場合においても、RTP パケットの再生を停止してはなりません。

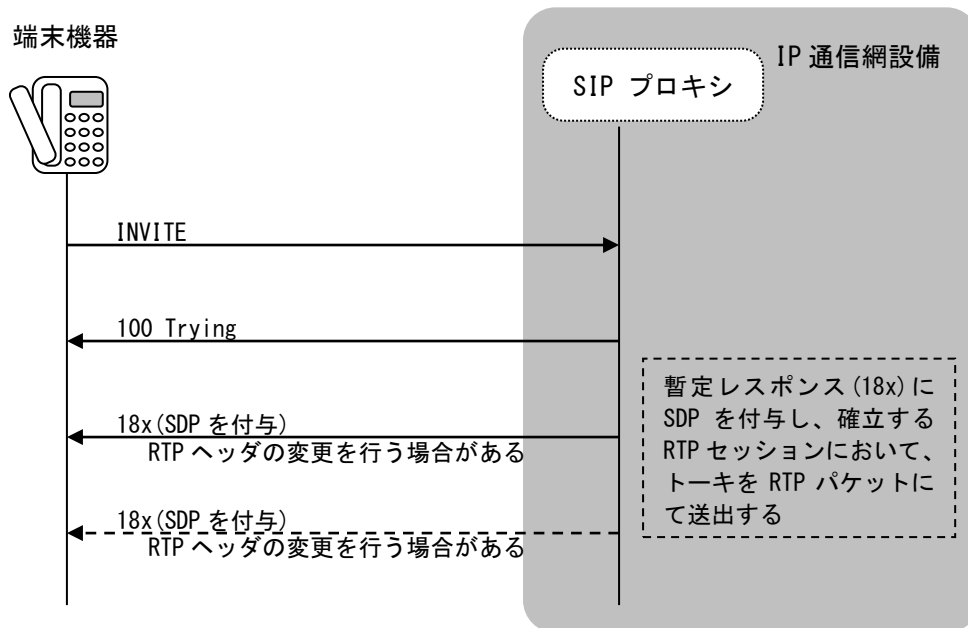


図 1.1 トーキ接続時のシーケンス例

表 1.1 IP 通信網設備が送信する RTP パケットの内容の例

送信順序	SSRC	シーケンス番号
1	A (Random)	B (Random)
2	A	B+1
3	A	B+2
(暫定レスポンス送信)		
4	A	C (Random) (*1)
5	A	C+1
6	A	C+2

(*1) シーケンス番号はランダムであるため、 $[B+2 \geq C]$ となることも $[B+2 < C]$ となることもあります。

また、シーケンス番号は暫定レスポンスの直後に変更されるとは限らず、 $\dots B+2$ 、暫定レスポンス送信、 $B+3$ 、 $B+4$ 、 $C(\text{Random})$ 、 $C+1$ \dots となる場合もあります。